

千早赤阪村高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第9期)(素案)に対するパブリックコメント結果

1.意見の応募者及び件数

- 応募者・件数 個人1人・2件
- 男女内訳 男性0人・女性1人
- 年代別 60代1人

2.意見の概要と村の考え方

No	意見の概要
1	<p>◎施策の展開について</p> <p>施策の方向性について書かれてあることは、理解できるが、大事なものは支援や介護が必要になる前に、生きがいを感じながら、健康な生活を送っていただけるかだ。○○教室や○○講座ももちろん必要だが、参加したくても行きづらい人もいるし、交通手段のない人もいだろう。そこで地域で行われている喫茶のような場に、簡単にできる体操や、健康に関する話をしてもらおう。(福祉担当者や民生委員、福祉委員、知識を持っている人の力を借りて)</p> <p>又、いきいきサロンのもっと有効な使い方を考え、気軽に多くの人々が利用できたらと思う。知らない人が結構いるし、限られた人だけの場になっていないだろうか。生きがいに関してはシルバーセンターや野菜などの生産以外にも、高齢者と子ども、若い人たちとの交流できる場があれば、生きがいにつながるし元気をもらえる。</p> <p>今ある施設を使って、様々な取り組みをし、活気のある元気な村・人たちであってほしい。</p> <p>例えば日常的に簡単にできる体操を考案する。千早赤阪音頭に合わせて盆おどりではなく、運動要素を取り入れる。他の曲に合わせても良い。一人ではなかなか持続しない。</p> <p>要するに健康なときから日常生活に簡単に組み入れる事に力を入れてほしい。又、今ある施設をもっと有効に使って、健康、生きがいにつなげていく施策も計画してほしい。</p>
	<p style="text-align: center;">意見に対する考え方</p> <p>・生きがいづくり、通いの場の活用について</p> <p>ご意見を踏まえて、地区福祉委員や村社会福祉協議会、その他関係機関と連携をとり、各地区のニーズを把握し、必要としている情報の提供等に取り組んでまいります。</p> <p>また、地域の喫茶については、地域包括支援センターの職員や役場保健師が定期的に訪問しており、相談受付や制度周知をしておりますので、その事業と併せて情報の提供を実施できればと考えております。</p>

	<p>・いきいきサロンの有効活用について 施設の利用には世代間交流や生きがい活動を通じて高齢者福祉の増進を目的とした福祉活動をする者も利用可能となっています。施設の利用範囲、利用方法については指定管理者である村社会福祉協議会を通じて積極的に周知してまいります。</p> <p>・運動の機会の創出について 「自宅でできる健康運動」という簡単にできる運動に関する動画を作成しており、動画配信サービス上で配信しておりますので、村の公式 SNS アカウント等を用いて、活用いただけるよう周知徹底に努めてまいります。</p>
2	意見の概要
	<p>「小さな村であり、大幅に見込量に差が生じることも考えられる」は、解る。しかしながら、物価高騰している中、介護保険料を少しでも安くしてもらいたい。社会全体で支え合うための保険であるが、助かる人もいる中、払いっぱなしで、亡くなる人もいる。この制度が続く限り安い保険料で、負担をできるだけ少なくしてほしい。</p>
	意見に対する考え方
<p>◎保険料の算出 介護保険料は介護サービス費に応じて算定しているため、サービス給付費が増大している昨今、介護保険料は増額傾向にあります。物価高騰など社会情勢を鑑み、なるべく被保険者の皆様の負担が大きくならないよう、介護給付費準備基金を活用し、介護保険料の上昇の抑制に努めております。</p> <p>また、ひとつめのご意見の内容と関連しますが、介護予防や生きがいづくりを推進することにより、健康な状態を少しでも長く維持し、なるべく介護を必要とせず自立した生活を送ることにつながり、結果として介護保険料の増額を抑えることができると考えております。</p> <p>従って、ひとつめのご意見とあわせて、関係機関と連携を図り、介護予防等の推進に取り組んでまいります。</p>	